

【まとめ】 ビグアナイド剤の血中乳酸値異常は高率であり、内服開始後 10 ヶ月は定期検査が必要と思われる。

16 2型糖尿病患者における食後高脂血症治療の意義（第4報）— ジアシルグリセロールの効果 —

中村 宏志*, ***, 中村 隆志**, ****

中村医院内科*

中村医院薬剤部**

新潟大学大学院医歯学総合研究科
器官制御医学***

新潟薬科大学薬理学教室****

【目的】 ジアシルグリセロールが2型糖尿病の食後高脂血症に対して実際に効果があるかについて検討した。

【対象と方法】 ① 2型糖尿病患者 8 名にサラダ油で作ったドーナツ 120g を摂取させ、前、2 時間後、4 時間後の血糖、TG を測定した。同対象者に別の日にジアシルグリセロールが主成分の油で作ったドーナツ 120g を用いて同検査を施行した。② 2型糖尿病患者 15 名を対象に、調理用油をジアシルグリセロールが主成分の油に 6 ヶ月間変更し、HbA1c、体重、TC、HDL-C、TG、RLP-C を測定した。

【結果】 ① サラダ油のドーナツに比して、ジアシルグリセロール油のドーナツを摂取した後の血糖、TG の増加が有意に抑制されていた。② 調理用油をジアシルグリセロールに変更した 3 - 6 ヶ月後に HbA1c、体重、TC、HDL-C、TG、RLP-C がいずれも有意に減少していた。

【結論】 ジアシルグリセロールは、摂取後の TG の増加が軽度であり、体重や血糖コントロールにも良い影響を及ぼす可能性がある。

17 グリメピリドの短期効果

宗田 聡・宮腰 将史・上村 宗

平山 哲・羽入 修・鈴木 克典

相澤 義房・中川 理*

新潟大学大学院医歯学総合研究科

内分泌・代謝分野

厚生連三条総合病院*

【目的】 軽症 2 型糖尿病患者に対するグリメピリドのインスリン抵抗性改善作用について検討した。

【方法】 外来軽症 2 型糖尿病患者 12 名に対しグリメピリド 1mg を 7 日間連続投与した。投与前後に 75g 経口糖負荷試験を施行し、HOMA-R、Insulinogenic index、血糖曲線下面積、インスリン曲線下面積などについて比較検討した。

【結果】 少量のグリメピリド投与することによって、短期間でも血糖降下作用、インスリン抵抗性改善作用が認められた。インスリン抵抗性を有する群 (HOMA \geq 2) において、有意なインスリン抵抗性改善効果に加えて、早期インスリン分泌促進作用を認めた。

【結語】 インスリン抵抗性を伴った軽症 2 型糖尿病患者にグリメピリドは有用であると示唆された。

18 Clomiphene 無効の多嚢胞性卵巣症候群 (PCOS) に対する metformin 併用療法の有用性の検討

倉林 工・萬歳 淳一・永田 裕子

加嶋 克則・鈴木 美奈・八幡 哲郎

藤田 和之・田村 正毅・田中 憲一

鈴木 克典*・中川 理*

新潟大学医学部産科婦人科

同 第一内科*

【目的】 clomiphene (C 剤) 無効の PCOS 症例に対して、インスリン抵抗改善薬の metformin (M 剤) が排卵障害を改善するか検討する。

【方法】 C 剤 100mg 5 日間を 2 コース以上行っても無効であった排卵障害による不妊 PCOS 女性 13 名を対象とした。1 コース目は D3 から M